



院長
伊藤 真理子
プロフィール

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の
女性のミカタ

「家族性」「遺伝性」乳がん

前回、小林麻央さんの罹患などで関心が高まっている乳がんを詳しく紹介したところ、大きな反響をいただきました。今回は前回紹介しきれなかった「家族性乳がん」「遺伝性乳がん」のお話です。

全体の5〜10%

家族性乳がんとは文字通り、血縁者に乳がんや卵巣がんの患者が複数いて、遺伝によって発生する乳がんです。このうち、遺伝子の変異がはっきりしている場合は遺伝性乳がんと呼ばれます。米国の統計では、家族性乳がんと遺伝性乳がん

は全ての乳がんの5〜10%とされています。

2つの遺伝子に変異

このうち遺伝性乳がんは、BRCA1とBRCA2という遺伝子のどちらかに変異があることが分かっています。

仮に2つの遺伝子のどちらかに変異があったとすると、乳がんを発症するリスクは50歳までで約33〜50%、70歳までで約56〜87%と推計されます。

欧米では発症前に予防

このため、欧米では遺伝子診断で将来の乳がん

発症リスクが高いと判断された場合、発症する前の段階で予防的措置をとるケースもあります。

米国の人気女優・アンジェリーナ・ジョリーさんがこの遺伝子の保因者であると知り、乳がんになる前に乳房切断手術に踏み切って日本のファンに衝撃を与えましたが、欧米ではさほど珍しい話ではないのです。



早い時期から関心を

日本ではまだまだ社会

的にも心理的にも抵抗があるようですが、将来的には欧米のように遺伝子診断から予防措置といった治療の流れが進むことでしょう。

そのためにも早い時期から乳がんに関心を持ち、自己触診と検診を受けける習慣を身に着けたいものです。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●診療時間

【平日】午前/8時30分〜12時

午後/14時〜17時

【木曜】午前/8時30分〜11時

【土曜】午前/8時〜11時

●休診日

日・祝祭日

木・土曜日は午後休診となります。

